

地域未来創造室

青少年育成委員会

委員長／稲場 永次 副委員長／岡本 壮一朗 委員会幹事／本間 税
委員／金村 修一 川端 康寛 澤田 光成 二本柳 匡沙子
藤井 辰吉 宮田 和希 吉田 誠 川口 倫央 末吉 勇介

1 2016年度青少年育成委員会は、地域の宝である子どもたちに対し我々大人が道徳心
2 や愛郷心を伝え、子どもたちに様々な経験を通して思いやりや感謝の心を育み、地域の未
3 来を担う人材へと成長を果たしてもらうために、一年間活動をして参りました。

4 4月例会では、子どもたちが健全なる成長を果たすために大人が模範となり、道徳心と
5 愛郷心を子どもたちに伝えていく意識を高めることを目的に開催しました。趣旨説明の中
6 で委員会が考える道徳心については、ペイフォワード運動を例に挙げ日本人が持つ道徳心
7 の高さを再認識してもらい、子どもたちに伝える必要性を説明しました。愛郷心について
8 は、企業が行っているブランディングの観点を地域に取り入れることで、住民が魅力を認
9 識し子どもたちに伝えることが、地域の発展につながることを理解してもらいました。次
10 に講師の村上さゆみ様から講話を行っていただき、来場者に子どもたちの存在がいかに尊
11 く大切であるかを話していただきました。さらに、子どもたちが正しい成長を果たすため
12 には、物事の分別を間違えない用に道徳心を伝えていく必要性や、講師が洞爺湖町で行っ
13 ているワークショップ活動について紹介していただき、愛郷心を育む方法を伝えてもらい
14 ました。来場者の方々には子どもの大切さを再認識し、健全な成長のために道徳心と愛郷
15 心を伝える意識を高めることが出来ました。10月第二例会では、子どもたちに相手を思
16 いやる心の大切さを理解し困難にも諦めない心の強い人へと成長していくことを目的に開
17 催しました。函館市、北斗市、七飯町の小学5、6年生男女50名に参加をしてもらい、
18 1泊2日の宿泊プログラムを行いました。体験プログラムの脱出ゲームでは、森町消防本
19 部の皆様に協力をいただき、災害時を想定した講習と疑似体験ゲームから協力することの
20 大切さを伝え、共助の心ゼミナールでは、相手に自分の考えを的確に伝える方法と相手の
21 考えを理解する必要性を学んでもらいました。逃走中では、子どもたちがミッションをク
22 リアしていく中で1人では不可能なことも協力しあうことで目標を達成する喜びを実感し
23 ていただきました。さらに、宿泊体験から沢山の経験を得ることで、共同生活を行うため
24 に必要な思いやりや仲間と協力する気持ちを育みました。事業の終わりにテーブルディス
25 カッションを行い協力し合うこと大切さや思いやりについて話し合い、友達大切さや
26 自分が何を心掛けるのかを発表してもらいました。本例会に参加した子どもたちは、相手
27 を思いやる優しい気持ちと困難を乗り越える強い心を持つことが出来ました。一年間の活
28 動を通して、大人が子どもたちの模範となり様々な経験を与え、子どもたちは経験から健
29 全なる成長を果たし、地域の未来を担う原動力となる人材へと成長を遂げる一助となるこ
30 とが出来ました。最後に私たちが担当した例会、事業にご協力いただいた皆様に御礼を申
31 上げます。